

# 千葉大学医学部附属病院 初期研修医対象

## 「精神科コース」に参加希望される方へ

### <案内・募集要項>

平成 27 年 2 月 12 日現在

精神科コース事務局：吉村健佑

#### ●精神科コースの目的

初期研修の期間、精神医学の広い知識と技術を身につけ、**将来何科の医師となっても基本的な精神科の診療が行えること**を目的とします。特に精神科医・児童精神科医となることを志す研修医は将来のキャリアを見据え、精神医学の広がりとしら楽しさを実感できることを目指します。

#### ●精神科コースの注意点

本コースに参加することが、**当科後期研修プログラムへの参加を義務づけるものではありません**。また研修期間中も当科での選択研修は必須でなく、コースの退会も自由です。当コースに参加しても、自分のキャリアの可能性が狭まることはありません。

#### ●募集要項

応募資格：千葉大学医学部附属病院初期臨床研修プログラム参加内定者  
(医学部 6 年生・既卒問わず)

募集期間：平成 26 年 11 月 1 日～**平成 27 年 3 月末**

定員：5～10 名程度を予定

コース期間：希望に応じ初期研修の全期間（最大 24 か月）まで可能です

#### ●精神科コースの位置づけ

参考「平成 27 年度 千葉大学医学部附属病院 研修医募集 HP より」

**■認定内科医・専門医コース、外科専門医コース、精神科コース**  
専門研修の早期開始と充実のため、専門重点、学究重点プログラムのオプションとして認定内科医・専門医コース、外科専門医コース、精神科コースを設定した。各プログラムマッチ後にコースを選択できる。

→オプション・コースであり、千葉大学病院の研修医であれば自由に参加できます

●4名の第1期生が参加しました

★大迫鑑頭先生：千葉大卒：国立病院機構 千葉医療センターローテ中

★吉崎智子先生：富山大卒：国立病院機構 千葉医療センターローテ中

★鈴木陽大先生：千葉大卒：千葉市立 青葉病院ローテ中

★鈴木耕輔先生：千葉大卒：千葉市立 青葉病院ローテ中

チューターとともに学び始めています！！

●現時点で5名の第2期生参加希望者がおります

★Aくん：千葉大6年生：国立病院機構 千葉医療センターローテ予定

★Bさん：山形大6年生：千葉市立 青葉病院ローテ予定

★Cくん：滋賀医大6年生：松戸市立病院ローテ予定

などなど。第2期生はまだまだ募集中です！！

●精神科コース参加者への8つのメリット

①精神科チューター制度

精神科コース参加者に対し、責任を持って勉強のアドバイスを行い、人的つながりを提供するチューターを配置します。コース参加者はチューター候補の中から、自分のロールモデルとなりうる医師を複数名選択することができます。コース参加者とチューター全員でメーリングリストを作成し、みなさんに有用な情報を共有します。

<精神科チューターの顔ぶれ；今後も増員予定です！>

★吉村健佑（平成19年 千葉大卒）：精神科コース事務局

現職：茂原神経科病院 診療部長 / 千葉大学大学院精神医学博士課程

資格：精神科専門医、臨床心理士、産業医、公衆衛生学修士、認知行動療法士

関心領域：リエゾン・コンサルテーション精神医学、難治性統合失調症、産業精神医学、医療経済学、医学政策学、臨床研究、医療統計学。

参加者に一言：精神医学の知識と技術を身に着けることは、人生に必須のサバイバルスキルです。ましてや臨床医としてはどの科においても避けて通ることはできません。その勉強を少しでもお手伝いできればよいと思います。参加を心よりお待ちしております。

Mail: kensuke0511@gmail.com

★田所重紀（平成18年 千葉大卒）

現職：茂原神経科病院 診療部長 / 東京大学大学院 総合文化研究科博士課程（哲学専攻）

資格：精神保健指定医、精神科専門医、臨床心理士、認知行動療法士

産業医、医学博士、学術修士

関心領域：精神医学基礎論（Philosophy of Psychiatry）、精神療法、臨床精神薬理学

参加者に一言：私自身もまだまだ駆け出しの身ではありますが、精神科医としての人生はとにかく「毎日が面白い」の一言に尽きます（これは必ずしも「愉快で楽」ということではなく「辛くしんどい」ときもありますが、それもひっくるめて、ということです）。精神科医として修行しながら人性(Human Nature)に関する洞察を深め、それがそのまま新しい自分との出会いに繋がる、そんな面白い人生を一緒におくりましょう。

Mail: tadokoroshigenori@gmail.com

★鎌田雄（平成 19 年 千葉大卒）

現職：千葉大学医学部附属病院 総合医療教育研修センター 特任助教

資格：精神保健指定医、産業医

関心領域：リエゾン・コンサルテーション精神医学、精神科救急

参加者に一言：精神科医として働いていると、我々は「病気」ではなく、病気である「人」をみていることを思い知らされます。まさに十人十色である「人」を理解し寄り添っていただけるような経験、スキルを共有できれば良いなと思います。

★町沢暁（平成 21 年 島根大卒）

現職：同和会千葉病院 精神科医

関心領域：気分障害、摂食障害、精神科外来

参加者に一言：精神科は否応なしに治療に治療者の色が反映されてしまう分野だと思えます。ただその色を生かすためには、まずは標準的な治療を学ぶことがとても重要です。皆様と一緒に楽しく学んでゆきましょう。

Mail: akatsuki753@yahoo.co.jp

★岡東歩美（平成 21 年 千葉大卒）

現職：成田赤十字病院 精神科医

学会：精神神経学会会員、児童精神学会会員、総合病院精神医学会会員

関心領域：難治性統合失調症、気分障害、精神科救急

参加者に一言：とにかく臨床が好きで、毎日楽しく働いています。臨床をやっていくなかで大切なのが、やはりきちんとした病態や薬理、標準化された治療法の理解であると思います。臨床に直結する”勉強”は、学生時代の勉強とは一味違ってとても奥深いものです。ぜひ一緒に学んでいければと思います。

Mail: att5129@yahoo.co.jp

★焼田まどか（平成 22 年 富山大卒）

現職：国立病院機構千葉医療センター 精神科医

関心領域：児童精神医学、統合失調症、摂食障害

参加者に一言：精神科医として勤務を始めてから、臨床の楽しさを感じながら、充実した毎日を送っています。プライベートでの経験と、仕事での経験が、相互で活かせるというのも、精神科の面白さの一つだと思います。私自身、プライベートでも仕事でも相談できる、優しく愉快的（？）先輩方の存在に助けられていますので、そんな先輩方をお手本に、皆さんの役に立てれば嬉しいです。千葉大のたすき掛けコースで研修したので、ローテーションのご相談は気軽にしてください！

★中川萌以（平成 22 年 千葉大卒）

現職：千葉市立青葉病院 精神科医

関心領域：精神療法

参加者に一言：精神科医になって3年目の中川です。千葉県で育った私は、高校生の頃「精神科医になりたい」と思いました。千葉県は温暖な気候で、都市部と農村と美しい海があり、美味しい野菜や魚がいっぱいの素晴らしい土地です。しかし人口過密地帯と過疎地を抱え、医師不足に悩んでいます。卒後は現・国立国際医療センター一国府台病院で初期研修をし、「育った千葉県で精神科医療に関わりたい！」と思い千葉県内で医療をしています。精神科には精神療法など、他の診療科にない独特の手法に興味があります。一緒に楽しく学んで、楽しく飲みましょう！

②初期研修中に身につけるべき基本技術を提示します

各科ローテート中に何を勉強すべきか、次のような疑問点にチューターが具体的にアドバイスします。

<内科>

ステロイド治療・インターフェロンと精神症状の関連と評価方法は？

アルコール関連疾患と依存症からの脱出方法は？

精神科医として必要な内科的検査、手技の範囲は？

終末期医療現場での精神症状の評価と治療は？

精神科医としてイレウスの評価や糖尿病の管理はどの程度必要か？

<外科>

管理に手を焼く術後せん妄の予防・評価・治療方法は？

精神科医になる場合、外科で何を学ぶべきか？

<整形外科>

慢性疼痛の患者に対する精神医学的評価はどうしたら？

<産婦人科>

周産期管理、女性のホルモンバランスと精神症状の関連は？

<救急部>

自殺未遂した患者の再企図可能性をどのように評価する？

精神症状と身体症状が併存した場合どうすれば？

頭部外傷後の患者が起こしやすい精神症状と管理方法は？

- ③千葉大学プログラムの研修協力病院の選択に際してアドバイス・情報提供します
- ・具体的な研修内容や利点や欠点については精神科コース担当者までお問い合わせ下さい。丁寧にお教えいたします。
- ④精神保健指定医・精神科専門医資格の取得をお手伝いいたします
- ・資格制度の概要をお伝えし、症例の確保の仕方、レポート作成の進め方をアドバイスします。
  - ・2年目研修医の選択期間において3か月以上の当科での研修を行うことで、症例として確保することができます。
  - ・精神科専門医の2次試験で課されるMCQテスト120問の4年分の過去問・解答案を作成してあります。近年の傾向を知ることができ、参考図書もお伝えします。スムーズに勉強開始ができます。
- ⑤日本精神神経学会の年間費（1.5万円/年）を最大2年間、精神科コースが負担します
- ・研修開始と同時に入会し、会報を通じて勉強できます。
- ⑥国内主要関連学会へ参加費用・旅費を精神科コースが負担します
- ・年に1度、日本精神神経学会のように大きな学会に参加します。
- ⑦当コースの推奨する精神科関連図書を進呈します
- ・主に千葉大学精神医学教室が関係して執筆された参考書などを進呈します。
  - ・図書カードを進呈し、自分の興味関心に合わせて図書を購入することができます。
- ⑧定期的に教室例会、精神科関連研究会に参加できます
- ・研修医向け、シニアレジデント向けのレクチャーの案内をいたします。
  - ・年に4回開催している人気企画「千葉若手精神科医の会」への参加機会を提供します。

●精神科コース参加者の年間スケジュール（平成26年度）

平成26年4月	参加者の募集、応募者へのチューター紹介開始
5月	参加者とチューターによる「スタートアップ・ミーティング」参加 日本精神神経学会への入会手続き（費用は当方で負担します）
5月29日	「千葉若手精神科医の会：精神医学におけるエビデンスの考え方」
6月26-28日	「110回 日本精神神経学会学術総会・横浜」参加

7月5日	医局説明会にて精神科コースの説明実施 精神医学参考図書・図書カードの進呈
7月19日	「千葉大学精神医学・夏の教室例会」参加
8月10日	「千葉若手精神科医の会：特別サマーセミナー」参加
10月7日	「千葉若手精神科医の会：精神科プライマリケアと災害精神医学」参加
11月1日	次年度参加者の募集開始
12月末	平成26年末・精神科コース忘年会開催
平成27年1月	「千葉大学精神医学・冬の教室例会」参加
2月24日	「千葉若手精神科医の会：これからの職場のメンタルヘルス」参加
3月10日	「千葉若手精神科医の会：アディクション臨床から学んだ事」参加
3月末	「年度末ミーティング・修了式」開催

●精神科コースの今後

本コースは平成26年4月から本格稼働しています。

一期生として4名がコースで学んでおります。2期生の参加希望者も続々集まっています。

今後も参加者を増やし切磋琢磨できる若手集団を形成したいと思います。

みなさんぜひとも千葉大学病院での初期研修をご検討ください。精神科コースでたっぷり、しっかり学びましょう！

参加希望者は下記にメールをください。お待ちしております。

連絡先：千葉大学精神医学教室「精神科コース」担当  
 石川雅智（医局長）：m-ishikawa@faculty.chiba-u.jp  
 長谷川直（副医局長）：hase.falcon@hotmail.co.jp  
 新津富央（副医局長）：niitsu@chiba-u.jp  
 吉村健佑（大学院生/事務局）：kensuke0511@gmail.com

<参考>

【初期研修医募集要項】

平成27年度千葉大学医学部附属病院医員（研修医）募集のお知らせ

願書受付期間：

平成26年7月1日（火）～7月17日（木）まで【必着】

試験期日：

第1期 平成26年8月19日（土）

第2期 平成26年8月23日（土）

給与：月額35万円程度